

建設業特化のプログラムを提供

Mimmyが運営する「オフィス留学」は、世界で活躍する建設業のグローバル人材の育成を支援するため、建設業特化型の英語学習カリキュラムを提供している。建設の専門用語やフレーズを学ぶ実践カリキュラムを受講者の業務に応じてカスタマイズし、パーソナルトレーニングとグループレッスンを組み合わせた週4回のレッスンを通じて、1年間で海外駐在できるレベルに到達させる。具体的な業務を想定した英文テキストを豊富にそろえ、建設業で働く人材の英語力を強化し、企業の海外展開を強力にサポートする。関根謙太社長にオフィス留学のポイントを聞いた。



Mimmy 代表取締役社長

関根 謙太氏

「どのような経緯でオフィス留学が誕生したのでしょうか」

前職は大手ハウスメーカーに勤務していました。国内事業を担当した後、海外留学やアジアの生産工場にトレーニングとして在籍し、帰国後、アメリカでの事業立ち上げに従事しました。同社が強みにしていた建設の効率化を武器に、現地のサプライヤーを直接統合する（デジタライズ）の推進に携わった中、世界一と言え日本の建設業の技術力を実感したのがきっかけです。そして建設業は日本最大の産業で設備や建機などをめぐる市場規模は100兆円に達します。今後世界で活躍できる産業は建設業だと考えています。

一方、言語を文化や商習慣の違いから、日本企業は実力に見合ったパフォーマンスを発揮できていないと感じました。海外では相手のことを理解した上で自社の強みをしっかり説明できないと受け入れてもらえません。その意味で日本の建設業は英語力の底上げが必要です。

私は海外事業部での業務をきっかけに、グローバル人材育成を目的とした事業を立ち上げ、2019年にLink&Real Estate（リンク&リアルエステート）として独立し、21年にMimmyに社名変更して現在に至ります。大学時代は土木学科で地質学を専攻していたこともあり、建築だけでなく土木、住宅、不動産を対象にした英語のカリキュラムを構築したのが特徴です。

——建設業の社員が英語を学習する意義は

英語ができなくても通訳をせば会話できますが、自分で聞いて話すのとはコミュニケーションの質が全く違います。まず通訳のスキルはしからず、まず通訳の建設の専門用語を正しく翻訳できる人は限られます。例えば「基礎」を訳すとき、ファンデーション

1年間			
Term1	Term2	Term3	Term4
英語基礎力向上		ビジネス英語 業界・専門分野別特化学習	
＜業界特化のレッスン内容例＞			
題材	シチュエーション	英語学習のアプローチ	
工期	工期短縮の説明（現場）	丁寧な提案、依頼の仕方 ・ Can you ~? → Could you ~?	
BIM	BIMの導入検討会議（オンライン）	オンライン会議でよく使うフレーズ ・ Let me share a document about…	
資料高騰	代替案のプレゼン	プレゼン表現/数字・単位 ・ In this section, I'm going to focus on …	

年間カリキュラム例

海外現場で本来のスキルを発揮

パスを広げるために英語を学びましたが、結果として自分が所属する産業のレベルの高さに気づき、誇りに思うことができました。

——英語教育を通じて目指すグローバル人材とは

当社が考えるグローバル人材は、「主体性・リーダーシップ」「専門知識」「語学力」の三つの能力と異文化への対応力を備える人です。建設業は現場の技術職、会計・財務・法務といった事務職などさまざまな業務がありますが、重要なのは、会社のマインドと強みを理解した人材が英語を直接話すことだと思います。

建設業は経験工学と言われ、技術職は長い時間をかけて専門知識を習得しますが、「英語力」は後からでも身につきます。日本企業が海外で活躍するには、こうした人材が英語力を武器に、仕事を切り開くことが重要だと思います。

——オフィス留学の特徴を教えてください

英語力は、ただやるだけでは絶対に伸びません。明確な目的がないと自分事にならず多くの人が挫折します。その意味でオフィス留学は三つのポイントがあります。一つ目が業務に直結する学習です。海外駐在経験の豊富な建設技術者や事務方として活躍した業界OBがアドバイザーとしてテキストを監修し、実務で交わされる会話を落とし込んでいます。外国人講師にも、業界のルールやグローバルでのロールプレイのポイントを伝える研修をしています。二つ目は受講者の完全サポートです。三つ目は、講師へのこだわりです。英語講師としてのスキルが高い人を採用するため、400人ぐらいの応募者から一人を選びます。採用された講師に対し、建設業のことを学ぶ場を設け、日本で数少ない建設の専門用語を教える講師陣を選ばせました。これらの要素により、ボリュームのあるカリキュラムでも完結できるのだと思います。

——具体的なカリキュラムは

オフィス留学は、一年を4つのタームに区切って学習します。ターム1、2は日常会話や文法の学習をします。注目される洋上風力発電もいち早く題材に取り入れます。

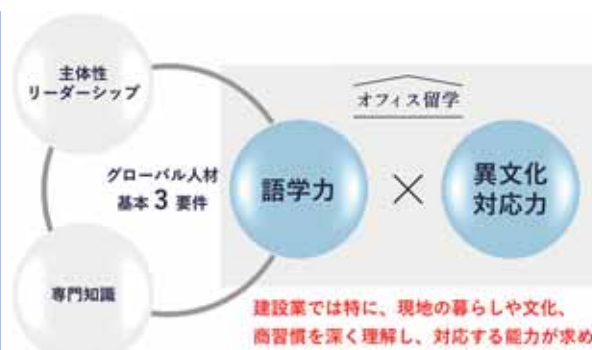
建設業界のグローバル化を支援

経営幹部向けエグゼクティブコース

役員会議や会食で直接コミュニケーションを

Mimmyは、執行役員以上の経営幹部を対象に、オフィス留学のカリキュラムを特別アレンジした「エグゼクティブコース」を提供している。特に英語での会話が必要になる「ミーティング」「会食」「会合」などで、相手の意図を正しく受け取れるリスニング力と、積極的にコミュニケーションを図るためのスピーキング力をつけるのが目的だ。

経営会議や交渉で必要「フォーマル」な場面と、会食など「オフサイト」の場面を想定し、エグゼクティブとして必要な英語力を習得する。英語での挨拶やプレゼンテーションの練習、英語のメール添削などにも対応。業務の一環として英語を習得してもらう観点から、日中の時間帯に週2回のパーソナルレッスンを受講する。



建設業では特に、現地の暮らしや文化、商習慣を深く理解し、対応する能力が求められる。

グローバル人材の必要要件

グローバル人材の必要要件は、主体性・リーダーシップ、グローバル人材基本3要件、専門知識、語学力、異文化対応力。建設業では特に、現地の暮らしや文化、商習慣を深く理解し、対応する能力が求められる。

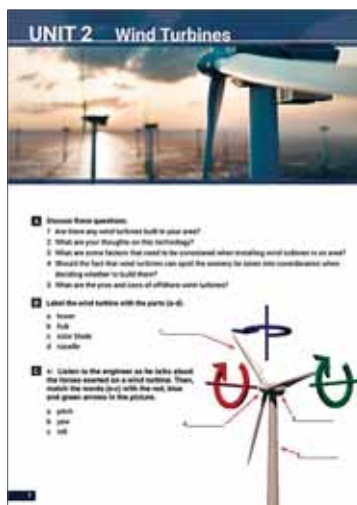
——今後の目標は

そもそも技術者は理系出身のため、文系に比べて英語を学ぶ機会が少なです。また、建設業はドメスティックな産業のため、国内の顧客が多く、グローバル人材が育つという土壌です。国際海外事業部を持つスーパーゼネコンでも海外で実力を発揮できる英語力を持つ人材が不足しています。当社は、建築、土木、住宅、不動産に留まらず、建設設備、建機、建機周辺産業に裾野を広げるカリキュラムの開発を進めています。今年4月には受講生数が急増し、8月いっぱいまで受け入れで、きい状況になりましたが、徐々にキャパシティを増やし9月以降に新規のお客さまの受け入れを再開していく予定です。建設業特化型カリキュラムを活用していただくことで業界の英語力を底上げし、海外展開に貢献したいと思っています。

実務に直結する教材が充実



建設業特化の英単語



実践的でリアルな場面設定



業務関連ニュースで学ぶ時事英語

ることでコミュニケーションが取りやすくなること好評だ。

オフィス留学では、ホームワークとして1週間に100単語を覚え、パーソナルトレーニングのレッスンでテストする。専門用語だけでなく日常会話のための基礎英語も学習するため、1年を通じて学習する量は単語帳3〜4冊分に達する。

建設業の会話を英文でテキスト化

業界特化のレッスンでは、「マートピック」に選定された英語の基本フレーズを学ぶ際、建設業のリアルな場面を設定し、そこでの会話などを英文にして学習するのが特徴だ。テキストは、アドバイザーの実

一般的なビジネス英語レッスンとの違い

学習ポイント Used toの使い方	
一般的なビジネス英会話	We used to serve only breakfast and lunch, but now we are open for dinner as well. (以前は朝食と昼食のみを提供していましたが、今では夕食も営業しています。)
オフィス留学	We used to have problems with lengthy construction timelines and low profit margins, but by reducing idle time on site we were able to shorten the duration of projects. (以前は我々も工期が長く利益率が低かったですが、現場の空き日数を減らすことで工期を短縮することができました。)

業務に直結した単語やフレーズと共に学ぶことが可能

際の体験に基づいて作成している。特に実務で経験を積んだ30〜40代の中堅社員の受講者には、習得した建築、土木の技術や経験を表現する方法を学ぶことができるため、意欲がわきやすいと評価が高い。

例えば、工期短縮の提案や現場に材料が届かないときの対応、断熱材の種類に応じたメリット・デメリットの説明、クレーンでパネルをつり込む方法など、より身近なテーマを扱い、ロールプレイ方式で学ぶことで即戦力として現場で使える英語を身につける。

近年注目される洋上風力発電の施工に関する例文を作成するなど時代のニーズに合わせたシチュエーションを追加している。

英文記事で現地の情報を入手

グローバルな建設市場や競合他社の動向、規制変更への対応など、各国の情勢にアンテナを張り巡らし、積極的に情報収集する力を身につけることも海外の現場で仕事をする上で重要なスキルだ。オフィス留学では、提携する海外のニュースサイトが発信する英文記事を題材に、時事英語に親しむようにしている。

時事刻々と変化するニュースに触れる習慣をつくることで、建設にかかわる出来事を把握し、文化的な背景も学ぶこともできる。それが現地の業者とのコミュニケーションの円滑化やリスク回避につながり、ビジネスに好循環をもたらす。

世界のニュースサイトの中から受講者一人ひとりの英語力や専門分野に合わせて講師がニュースを選定し、ホームワークとして出題する。

「オフィス留学」は、建設業に特化した英語力を向上させるため、教材の制作に力を入れている。日常会話を中心とした基礎英語に加え、海外での建築、土木工事、ビジネス会話などに豊富な経験を持つアドバイザーが監修者となり、建設現場での体験や知識を生かしたコンテンツを作成し、日々進化させている。実務を想定した英文のテキスト、専門用語を収録した単語集などに海外の知見を集約した。

約2000語の単語集を作成

現地のパートナーとの信頼関係構築や、さまざまな職種の技能者とコミュニケーションを取る上で、建設業界に特化したボキャブラリーを習得することが重要だ。プロフェッショナルとして立ち振る舞う上で自信となり、ビジネスの円滑な推進にもメリットをもたらす。

「オフィス留学」では、建設業の専門用語を習得するツールとして、建築、土木、戸建て住宅などの各業務で使われる用語を収録した独自の単語集を作成した。現時点で約2,000単語を収録し、顧客ニーズに応じて追加しているところだ。

大テーマ、中テーマ、小テーマに項目を分け、単語を分類している。例えば大分類の「工程表」の下に中分類の「納まり」があり、その下にEnds（留納め）、Bow（反り）などの単語が並ぶ。通常の単語帳には掲載されないが、現場でよく使われるスラングなども含まれており、それを知

オフィス留学

建設/土木/不動産 業界特化
英語力強化プログラム株式会社 Mimmy
〒107-0062 東京都港区南青山 7-3-6 南青山 HY ビル7階

専用ダイヤル

03-6826-0647

建設通信新聞を見たとお伝えください。(平日 9:00-18:00)